

Title: 踊るダメ人間



柳川 真子
不安と期待でいっぱい
いっぱいです。
どわだけ撮影できる
か、楽しめるか、自
分の頑張りが次第で
す。

● 最近のエントリー

- ☑ 金巻風景
(2011.06.24)
- ☑ NAUGHTY BOY
(2011.06.24)
- ☑ ノット・サティスファイド
(2011.06.14)
- ☑ デイ・ドリーム・ヒローバ
ニ
(2011.06.13)

● アーカイブ

- ☑ 2011年09月
- ☑ 2011年08月
- ☑ 2011年07月
- ☑ 2011年06月
- ☑ 2011年05月
- ☑ 2011年04月
- ☑ 2011年03月

● 投稿カレンダー

● カテゴリー一覧

● ブックマーク

学校法人 日本写真芸術専門学校
NIPPON PHOTOGRAPHY INSTITUTE



RSS 2.0

踊るダメ人間 > 2011年06月 アーカイブ

11.06.24

心象風景

[Tweet](#)

[Check](#)

つづきましてー、
コチまたはコーチン(Kochi)。

もともとコチは休養・観光の予定で、
正直、また気持ちが滞りそうな怪しい曇りきだったの
で、せっかくなので楽しもう、と。

最初はエルナクラム地区という中心地的な地区に泊まっていたけれど、
途中からフォートコーチン(Fort Kochi)という半島の方へ。

半島ということはつまり、海！ということ

ブーケットの時と同様、ワクワクしながら、さっそく海へ。



しかし、この汚れっぷり。





フラッシュバックというか、何かを思い起こされますね.....と私情は盡いていて、

ここ、フォートコーチン、
人によってはインドらしくないと言われてしまうらしいですが、
本当に素敵な場所でした、はい。

チャイニーズフィッシングという漁法、
聖フランシス教会、カヌカリという伝統的な踊り等がある観光地。

場所も魅力的なコチなのですが、

何より、

地元の人がフレンドリー。

歩いていると、
やたら「こんにちわー」「こんにちわー」と挨拶される。
人によってはお辞儀も。

そして、
最終的に「ともだちー」「フレンドー」

いやいや、フレンドリーすぎる。

というか、フレンドリーすぎて若干戸惑う。

この人達はすぐ「友達」と呼ぶけれど、
見ない、聞かないとすぐ「友達じゃない」とも言う。

そんなに簡単に「友達」という言葉がでるとどうすればいいのか悩みます。正直。

コチでまた、素敵な方達に出会ったのですが、

すぐ「友達」になって、
すぐ「友達じゃない」と言われたり、
でも道ですれ違おうと、叫びながら手を振ってくれたり。

関わり方が分からなくて、
彼らとの約束をやぶってばかり。

でも、そのことがどうしてもずっと引っかかっていて。

完全に自己満足な行動だと思ったけど、

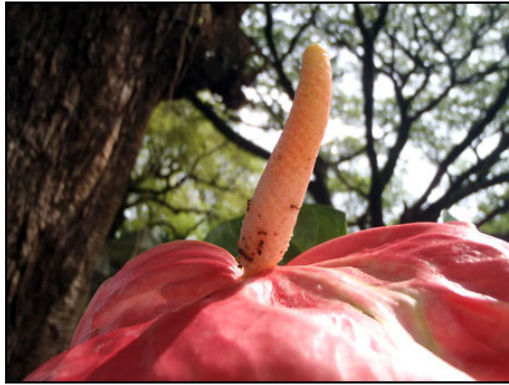
気になっているくらいなら会いにいこうと、コチを離れる朝、彼らとこへ。

約束やぶってばかりだったのに、彼らは歓迎してくれて、
空港に向かう時、見送りにまで来てくれました。

しかも、連日お世話になったリクシャのおっちゃんも
バイバイと、ただそれだけを言うために会いに来てくれて。

彼らにとって、
自分は今まで会った"日本人"のなかにただカテゴリーされるだけかもしれないけど、
出会えてよかったと本当に思いました。





その人自身が出会う人によって、
国の印象はそれぞれ変わると思います。

大きさにいえば、
良い人、おもしろい人に出会ったならその国は良い印象の国に、
嫌なことに遭ったり、嫌な人に出会ったなら悪い印象になるかもしれない。

つまり、その出会った人はその国の代表になっている訳であって。

私の好きな人が言っていた、
フィールドワークに行く旨はある意味、日本代表なんだよ。
という言葉のおかげで、

いくら自分が戸惑ってたとしても、

彼らとの出会いを適当にしようとしている自分は何なのだろうと思えました。

ブログからになります、ありがとうございます。

本当に
いろんな場所があって、
いろんな人がいるなあ、と。

post by 柳川 真子 | 日時: 2011.06.24 | [バーマリントン](#) | [コメント\(2\)](#) | [トラックバック\(0\)](#) カテゴリ:

[読むダメ人間](#) > 2011年06月 アーカイブ

NAUGHTY BOY

[Tweet](#)

[Check](#)

Mumbai,India. 晴れ時々小雨。

こんにちは、
何歳乗っても飛行機は好きになれそうにありません、柳川です。
インドは飛行機移動ばかりなので慣れるかと思ったら、むしろ嫌いになる一方。

ゴッつい靴だから仕方がないですが、
X線検査を終えた荷物を靴下袋で待っていると時々切なくなります。

さて、
バンガロールコチ、そして今はムンバイ(Mumbai)にあります。
インド四大都市のうちの一つであります。

毎度の事になっていますが、時間は少し廻りましてバンガロールのことを。

◆◆◆◆

インドといえば、そう。

牛です。(いや、カレーより牛です。
堤さん丹下さんからの牛目撃情報を聞き、牛を求めてホテル周辺を散策。



どこだろうかと思ったら、早達いました。牛。



意外と探えの。

さらに牛を求めて....



あ、いましたいました。



この存在感、いいですね。

とニヤニヤしていたら、どこからともなく子どもっち登場。



カメラを見た瞬間、決のポーズしてくれました。

突然の登場に戸惑いつつ、ありがとうと言うと、
ちょっと待ってくれと言って、どこかへ消え、

再登場。





微妙に仲間が増えていく。

これ以上続々と集まってきたら稀いので、じゃあねと行こうとしたら
こっちのお寺を撮りなよとすごいアピール。
それじゃあせっかくだし、と書いてくことに。



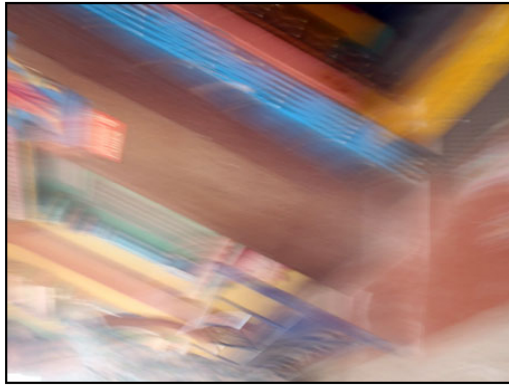
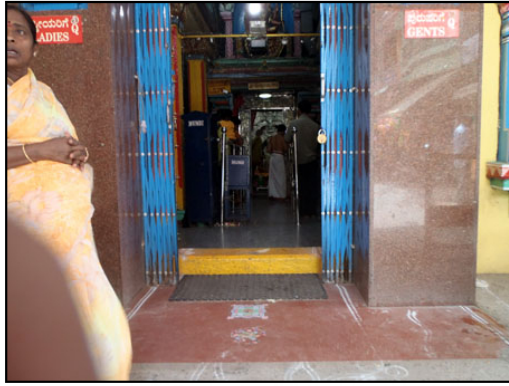
ここ、ここを撮りなよ、このなが！と言われ、

「え、でも撮っていいのここ？」と迷っていると

「よし、代わりに撮ってあげるよ」と子どもたちがお寺の中を撮ってくれました。

子どもたち撮影。





子どもたちがカメラを奪い合って騒いでいたから、

寺内をずっと撮っていたから、
最終的に子どもたちは周りの大人に怒られてました。

あまりにも楽しそうにはしゃいでるから、
周りの大人の空気を感してたけど、ただ見守ってました。ごめんね。

その後もずっと
撮って撮って、こっちょこっちょ。とはしゃぎっぱなし。
(周りのおばちゃんとかにまた怒られて、最終的に架れられてた..笑





彼らは突然の登場なうえ、
お別れも突然で、いきなりじゃあねバイバイ！と消えてゆきました。

子どもというが、彼らはやっぱり無敵だなあ、と。ありがとう。

◆◆◆
お次ぎはコチ(Kochi)について。

post by 柳川 真子 | 日時: 2011.06.24 | [バーマリンク](#) | [コメント\(2\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

カテゴリ:

[知るタメ人間](#) > 2011年06月 アーカイブ

11.06.14

ノット・サティスファイド

[Tweet](#)

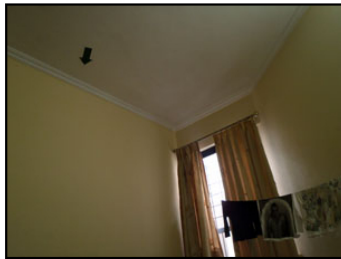
[Check](#)

Bangalore,India. 曇り。

こんにちは、
ホテルの部屋にボタンがいっぱい(14個)、
どれがどの電気だかすぐ忘れず、柳川です。

部屋が真っ暗になるかもと怯えつつ押すと、ほぼノーリアクション。
このボタンはこの電気をON/OFFしてるのだろう。

そして、
なぜか天井には矢印。



はい、矢になる。

試しに矢印の方向を静かに見つめてみたけれど、ノーリアクション。

脂みのタネは増えていくばかりです。

そんなこんな、

バンガロールは涼しいです。
日中の日差しは強いものの、30℃を超えるか超えないぐらいのようです。

チェンナイ初日は42℃を聞いて、えらく驚きましたが。

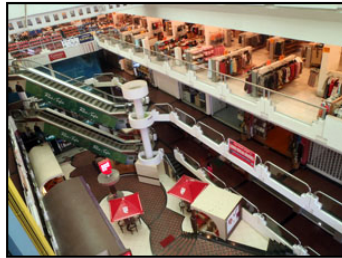




でも音が響いているように、なんだかそこまで響くない。
いや、これからいやでも響くのかな。

パンがロールは都会のようですが、完全消え去っていないインドクオリティが素敵です。

散策中に発見した、ショッピングモール。
写真ではとっても綺麗ですが、実際人も少なくってないです。

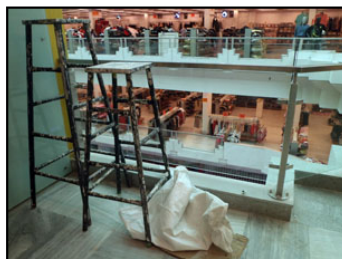


エスカレーターは2階までしかいけなくて、あとは止まっているし。

4階まで階段。



こういうのも絡み出しっ放し。まるでオブジェのよう。



インドの人達の目力と凝視にはビビりまくりですが、
世界中いろんな人がいるようにインド人といってもいろんな人がいるな、と。



そりゃそうだって話なんです、なんだが改めて驚きました。
結構、思い込みやすいというか、
簡単な事を忘れていたみたいで自分、簡単な事だから忘れてしまうのかもしれませんが。

飲食店のインド人の気の利きっぷりは見習いたいと思います。

でも、ナン(Naan)のおかわりをやたら勤めすぎ。

いやでもナンは美味しい。どんなに否定したって、チャイも美味しい。



チェンナイ初日に食べた、カレーの定食？

手で食べるのに挑戦しましたが、うまくなれそうにありません。

ある先輩の名言、

「汚れる事を、恐れるな」

カニを手で食べるにしても、
カレーを手でこねくり回して食べるにしても、

食事の時に限らず、

この言葉は名言だと思います。

汚れる事を恐れるな、
簡単そうですが、どうしてだが簡単じゃないんです。

カテゴリ:

post by 柳川 真子 | 日時: 2011.06.14 | [パーマリンク](#) | [コメント\(6\)](#) | [トラックバック\(9\)](#)

[知るダメ人間](#) > 2011年06月 アーカイブ

11.06.13

デイ・ドリーム・ビリーバー

[Tweet](#)

[Check](#)

Bangalore,India. 曇り時々晴れ。

インドの方の横揺れ(相対的な意味)がマイブーム、柳川です。
少しずつ、コツを得てきました。

FWのメイン？ともいえるインドに入国し、
ChennaiからBangaloreに移動いたしました。

ただいまバンガロールにて、
とても嬉しい事にネット環境が整っているホテルにいますので、
できるうちにせっせと更新がんばります。

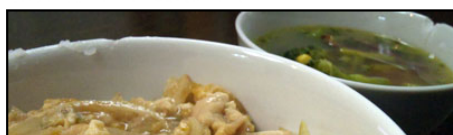
さて、時間はまた少し遅ります。お付き合いをお願いします。

◆◆◆

マレーシア・スクーリング施設はとても居心地がよかったです。

誰かが自然してる音を聞くときキッチンで場所はいいなあと思ったり、
屋上で揺られている洗濯物をポーッと見ながら、
洗濯機はやはり三種の神器だと感動したり、そんなこんな。

ミキさんが作ってくれた親子丼。神です。





今まで作った事が無いのに挑戦してみたポテトサラダ。



すごく美味しくもなく、不味くもなく.....ので、小さい画像で。

あ、今年もこの事件が起きました。

去年は5歳先生が被害を受けていましたが、今年もまた犯人は同じ....?



スイカ？に紙をとられるかと思いますが、サンダルですこれ。

サンダルに障が。

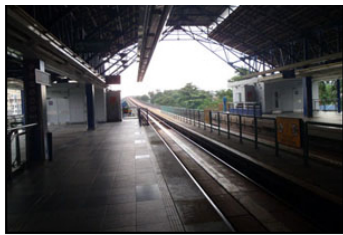
この後、2名ほど被害者増えました。

何度も食べに行ったミドリノ壁のご飯屋さん。



スクーリング施設から最寄り駅。パラマント駅。
最終日にて、迷わずにたどり着きました。





そして、インド出発。

6月10日、早朝5時半。

みんな、眠気のためか、

こんななったり、



伸びたり、



ちょっと雑んだり、



こうしてみたり、

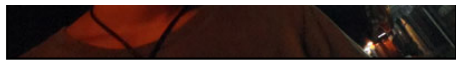


異様なテンションで待っている間に、
遅れていた、もう1台のバンはやってきました。

いよいよ、インドへ。

そして、ベトナムから今まで引率をしてくださった富田先生とお別れ。





同行の国が多かったので、本当にいろいろとお世話になりました。
中国まで暫しのお別れであります。

すでに寂しいですが、これ以上迷惑をおかけしてはいけないので、
本当にありがとうございます。

さてさて、インド。

やろう、がんばろう、やるしかない。
頭で分かっているけど、同じ事を繰り返したら学んでいないのと一緒。

カテゴリ:

post by 柳川 真子 | 日時: 2011.06.13 | [バーマリンク](#) | [コメント\(4\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

[読むダメ人間](#) > 2011年06月 アーカイブ

11.06.09

CRAZY DAYS CRAZY FEELING

[Tweet](#)

[Check](#)

Kuala Lumpur, Malaysia. 曇り。

ご無沙汰しておりました。
昔のブログ更新の波に完全出遅れました柳川です。
ねばーぎぶあっぶ。

◆◆◆

まず、時間が戻りますが
マレーシアでのスクーリング期間。

板塚先生、鈴木先生、
日本から来て頂き、ありがとうございます。
脳内拡散していて、申し訳ありません。

次のスクーリングまでに、このバラついてるものをどうにかしたいと思います。
自分はどうしたいのか。

さて、
スクーリングを終えて、シンガポールへ。

Harbour Frontにあるナショナルジオグラフィックにて写真展を。
写真展は6/30まで開催されておりますので、シンガポールに行く際は是非。

本当に貴重な体験をさせていただきました。

カメラを提供して頂いた、株式会社OLYMPUS様
設営の準備等、会場を提供して頂いた、ナショナルジオグラフィック様、
通訳、指揮等いろいろな面でお世話になりましたジミーさん、アントニオさん、

他にも多数の協賛企業様、各社関係者様。
この場をお借りしてお礼申し上げます。
ありがとうございました。Thank you so much.



みんなもお疲れさまです。
特に、浴衣の着付け等を夜な夜な教えてくださった小林ミキ先生ありがとうございます。
できの悪い生徒で申し訳ありません。

スライドショーをした4人もお疲れさまです。
見ていて、4人がすごくかっこ良くて、とても楽しそう感じたのはここだけの話であります。
本当にすごく素敵でした。

最後に、教務課の先生方、
プライベートでマレーシアに来てくださった斎藤先生、
引率の富田先生、徳田先生、
施設ではいろいろとお世話になりました穂積先生、梅先生、
ありがとうございます。



post by 柳川 真子 | 日時: 2011.06.09 | [バナーリンク](#) | [コメント \(6\)](#) | [トラックバック \(9\)](#)

カテゴリ: